

研究機関：広島大学

研究課題名	がん患者への Advanced care planning に関する看護師研修プログラムの開発
研究責任者名	医系科学研究科 老年・がん看護開発学 教授 宮下 美香
研究期間	2021 年 11 月 17 日～2022 年 3 月 31 日
対象者	日本看護協会のホームページ上に施設名と氏名を公開している九州地区と山口県、広島県、岡山県の緩和ケア認定看護師のうち、先行研究（E-612「がん患者への Advanced care planning に関する看護師研修プログラムの開発」）の調査協力に同意が得られた看護師
意義・目的	「Advanced care planning (ACP)」は、意思決定能力の低下に備えて患者の価値観を明確にし、治療の選択を含めたケアの目標を患者・家族とケア提供者が共有するプロセスを指します。 日本国内のがん患者に対する ACP は、主に緩和ケアチーム医療の中で進められ、その中で身近に存在する看護師の果たす役割は大きいといえます。これらの役割を実践する看護師には、高度な知識と水準の高い技術が求められ、そのための教育・研修が必要だといえます。 しかし、これまで日本の医療背景や文化を考慮し ACP を系統的に学習できる教育プログラムはありません。そのため、本研究では看護師を対象としたがん患者への ACP に関する研修プログラムを開発し、それを実施することでプログラムの有効性を明らかにしようと考えています。
方法	本研究は、既に実施した研究（広島大学疫学研究倫理審査委員会承認番号：E-612）のデータを活用し、ACP の研修に参加くださった方の研修前と終了直後、3 ヶ月後の質問紙調査結果（氏名等、個人が特定できる情報は含まれておりません）を用い、分析します。主な分析方法として、研修前から終了後 3 か月の平均値の比較を対応のある Wilcoxon の符号付順位和検定にて行います。終了直後のデータについては記述統計量を算出します。質問紙調査の項目は、年齢や性別、認定看護師の経験年数、ACP の実践状況およびがん看護の困難感、研修プログラムの評価等です。
共同研究機関	共同研究機関はありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院 医系科学研究科 老年・がん看護開発学 教授 宮下美香
試料・情報の他機関への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5385 広島大学大学院 医学系研究科 老年・がん看護開発学 教授 宮下美香